

パキスタン国シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト

プロジェクトニュースレター第1号(2019年7月)



シンド州サッカ農
村部の女性たちと
手工芸品

プロジェクト概要

- 案件名:シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト
- 協力期間:2017年3月~2022年10月
- 相手国機関名:シンド州女性開発局(WDD)
- 上位目標:女性家内労働者(FHBW)向けの「生計向上ナレッジ・アンド・ツールキット」に含まれるサービスの一部を受けたFHBW世帯の数が増える。
- プロジェクト目標:官民連携を通じて開発された女性家内労働者世帯の生計向上を目指すツールキットの適用が促進される。
- 成果:
 1. ツールキットの適用促進に向けてWDDの能力が強化される。
 2. FHBW世帯のライフマネジメント能力が向上する。
 3. FHBW世帯の金融サービスアクセス能力が向上する。
 4. FHBWが収入向上に必要な知識と技術を習得する。
 5. フォーマルセクターへの女性雇用促進の重要性が啓発される。
- 対象地域:カラチ、サッカ

プロジェクト(フェーズ2)が開始しました。

パキスタンでは、農業外労働人口の多くがインフォーマルセクターで働いており、その中でも家内労働に従事する女性が大きな割合を占めています。家内労働者は、労働者の基本的権利を擁護する労働基準法の対象となっておらず、不当な報酬の搾取、劣悪な作業環境、低い交渉力、必要とされるサービスへの限定的なアクセスなど、困難な問題に直面しています。本プロジェクトは、シンド州女性開発局と家内労働者への支援やサービス提供に取り組む様々なパートナー機関(公的機関、NGO、民間企業等)との協力と能力強化を通じて、低所得層の女性家内労働者の生計向上と生活改善を支援していきます。

2017年3月より開始された本プロジェクトは、最初の1年間をフェーズ1として、パートナー機関の特定や詳細活動計画策定を行いました。2018年11月にフェーズ2が開始され、実質的な活動がスタートしました。

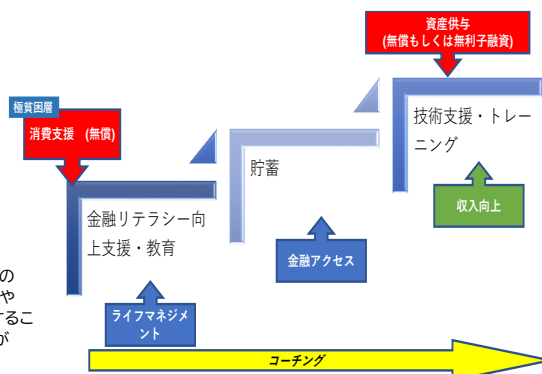
プロジェクトの基本コンセプト「SPIN」

本プロジェクトは、以下の3つのポイントを柱とした「SPIN」を基本コンセプトとして実施しています。

Step-wise Approach

(段階的支援):プロジェクトの対象女性の多くは極貧層で、食料の確保にも不安を抱えています。そのため、「卒業アプローチ」*に基づく段階的な支援を行う予定です。

*CGAPとフォード財団がバングラデシュNGOのBRACの経験に基づき開発した支援アプローチ。極貧層には社会保障や金融アクセス促進から生計向上支援と段階的な移行を支援することにより、短期的には生活を保護し、中長期的には生計活動が持続することを目指す。



サッカの伝統的な刺繍



- **Public-Private Partnership(官民連携):** FHBW の生計向上には、政府などの公的機関のみならず、企業や NGO などの民間セクターとの協力が不可欠です。本プロジェクトではパイロット活動を実施する NGO を選定し、協力して活動をすすめます。また、フォーマルセクター雇用に向けた啓発活動、金融アクセスの促進などは、民間企業とパートナーシップを組んで官民連携の FHBW 支援コミュニティを形成していきます。
- **INvest in Future(未来への投資):** 急速な時代と社会経済の変化に対応し、女性とその家族が将来にわたり生計向上するには、次世代を担う女性たちの経済活動機会の多様化を支援する必要があります。次世代女性の機会創出に向け、ライフマネジメント研修、デジタル金融サービスとの連携、ソーシャルメディアマーケティング、正規雇用促進などの活動を行っていきます。

キックオフ会合の開催

2019年1月と2月、本プロジェクト関係者(シンド州女性開発局職員、連携パートナーNGO(SRSO、WDFP)スタッフ、連携 Fintech 企業(TEZ Financial Services)スタッフ、JICA 職員、プロジェクトスタッフ)が一同に会して、プロジェクト対象地のカラチとサッカルでキックオフ会合が開催されました。

本会合では、まず「未来の新聞」セッションを実施しました。グループに分かれ、各参加者が本プロジェクト終了時にどうなっていたいか、どのように報道されたいか、を新聞記事として作成し、目に見える形で目標やビジョンの共有を行うものです。また、「私の役割と目標」セッションでは、各自が本プロジェクトにおける自分の役割を明確化し、一人ひとりスピーチを行いました。これから本格的に開始される活動に向け、各関係者が同じ目標に向かって団結を誓いました。



←収入向上チーム作成の「未来の新聞」

↓サッカルプロジェクトメンバーで集合写真

←WDD 次官も積極的に参加頂きました

プロジェクトロゴが決まりました。

タイトルの長い本プロジェクトですが、皆様にいち早く覚えて頂き、社会に幅広く浸透させるため、プロジェクトショートタイトル・ロゴを作成しました。サブタイトルとして命名した「Livelihood Improvement for Growth and Transformation of the Female」を略して「LIGHT-F」プロジェクトです。農村部の人々にもなじみがあり、「命、上昇、真実、再生力」などを象徴する灯火をあしらったデザインです。これから LIGHT-F 関係者一同、炎を燃やし続けられるよう頑張っていきます！



後記:

フェーズ1で活動計画策定に一年をかけ、いよいよフェーズ2が開始されました。非常に多くの関係者が関わり、男性・家族を巻き込んだトレーニング、民間企業との連携でショートフィルム作成・コミュニティで啓発、デジタル金融商品の開発、ソーシャルメディアを使った啓発、ハイエンド市場へのクラフト商品の売り込み、などなど、斬新でイノベティブな活動が目白押しです。今後も定期的に活動進捗をお知らせしますのでご期待下さい。

シンド州におけるインフォーマルセクターの女性家内労働者の生計向上および生活改善プロジェクト 2019年7月

